

計画事業番号	0054-1	事務事業名	新規就農経営安定支援事業	担当部署	経済部農政課	電話	4604
--------	--------	-------	--------------	------	--------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	北広島市農業後継者等育成基金条例、北広島市新規就農経営安定支援金交付要綱				
事務事業開始年度	平成26年度	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 4 章)	活気ある産業のまち
	(第 1 節)	農業の振興
	(施策 1 )	担い手の育成
2 対象	市内に居住し、市内において農業従事している認定就農者	
3 目的と内容	新規就農者への支援を充実し、農業後継者としての定着促進を図るため、新規就農者の農地賃借料を助成する事業を実施する。 支援期間は新規就農した年度から起算して3年度とし、1年度1人につき250千円を限度に農地の賃借料の2分の1の額を補助する。 【前回推進計画からの変更点】 H29、H30、H31の補助金対象者の増にともなう補助金額増	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	市内に居住し市内において農業従事している認定就農者の農地賃借料を支援し、就農初期における農業経営の安定を図り、新規就農者の確保及び定着を促進する。 26年度 支援実績3件 支援金368,860円 27年度 支援実績2件 支援金273,000円 28年度 支援実績5件 支援金448,060円
	29年度	昨年度と同様であるが、市内に居住し市内において農業従事している認定就農者の農地賃借料を支援し、就農初期における農業経営の安定を図り、新規就農者の確保及び定着を促進する。 支援予定 3件

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付 交付実績 5件 448,060円	新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付	新規就農経営安定支援金の交付

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	農業者の減少や高齢化、後継者不足という農業の現状から、新規就農者の就農初期における農業経営の安定を確保するため、国の補助事業だけでなく市としての支援制度を今後も継続し、新規就農者の定着を促進する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			448		400		1,250		500	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	448		400		1,250		500	
		一般財源	0		0		0		0	
		① 合計	448		400		1,250		500	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)		0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	
		③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
		④ =②×③		420	0	420	0	420	0	
総事業費①+④			868		820		1,670		920	

**【評価指標】**

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①申請件数	目標値 実績値	5 5	3	3	2
	②支援金交付件数	目標値 実績値	5 5	3	3	2
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	②	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					
	③	目標値 実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

**【評価項目】**

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	新規就農者への支援を充実し、農業後継者の確保と定着を図るための農業後継者等育成基金の活用は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	支援金が活用されることによって、新規就農者の経営安定につながっており、成果はあがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	新規就農者の確保と定着の促進を図る事業であり、成果を向上させる代替策はない。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	就農初期段階の経営安定のために必要な支援内容であり、コスト削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	-----------------------------------------------

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------